



白黒はつきり！

いなば卓夫

平成18年2月11日発行

ニュースレター

無所属・無派閥・市民党

市民本位の市政を創ろう！



日光市議会議員
稲葉卓夫後援会事務局

〒321-1404 日光市御幸町 578

TEL 0288(50)3178

FAX 0288(50)3181

携帯 090(2323)0667

e-mail t-inaba@plum.plala.or.jp

安全・安心な地域社会を創ろう！ いなば卓夫活動報告

「地域防犯活動リーダー育成講習会」に参加。2月25日(土)報告会開催

地域の防犯活動に日夜尽力されています皆様にご心から敬意を表するものです。平成18年1月28日、29日の二日間、宇都宮市主催の「地域防犯活動リーダー育成講習会」に参加してまいりましたのでご報告申し上げます。第一日目の28日は開会式のあと、宇都宮市の犯罪発生の実況と課題、原因についての講義が県警本部生活安全企画課の佐藤警部からありました。次に防犯パトロールについては事例発表が晃宝小学校PTAからあり、防犯パトロールの心得と必要性について生活安心課の岡主幹から、防火の観点から放火等の犯罪について消防本部予防課の塚田係長からそれぞれ講義がありました。第二日目は防犯ビデオを見たあと、地域安全マップの作り方の説明を受け、防犯パトロールの意義とポイントについて学びました。その後、六本木や渋谷のパトロールで有名なNPO法人、日本ガーディアン・エンジェルの街頭パトロール研修がありました。また、宇都宮市違反広告物除去への市民ボランティア参加の説明等もありました。参加者は30人でした。

主な内容としては●現在の犯罪は車社会になり広域化し、目撃情報が得づらくなり、通報が得にくくなってきている。またオレオレ詐欺のように遠隔地からの犯罪もあり、犯罪の増加に比して検挙率が低下してきている。●防犯マップの作り方は犯罪社会学がご専門の立正大学助教授の小宮信夫先生が作成した「地域安全マップ作成マニュアル」、サブタイトル「子供と地域を犯罪から守るために」というテキストを使い勉強しました。大人が作るのではなく子供たち自らがマップを作る「過程」こそが大切であると力説していました。●防犯ビデオ「みんなでつくろう安心の街、いま、ボランティアたちは」では愛知県春日井市や大分市、神戸市、広島市の防犯組合やボランティアの取り組みが詳しく紹介されており大変参考になりました。●また、県警刑事課から宇都宮市に出向中の岡主幹の専門的なお話、犯罪で有名なニューヨークが短期間で犯罪を減少させた「割れ窓理論」のお話はとても興味深く勉強になりました。

地域安全マップの理論的根拠、「犯罪機会論」とは？

欧米諸国では、犯罪者の異常な人格を改善しようとする「犯罪原因論」の限界が認識され、それに替わって、犯罪者に犯罪の機会を与えないことによって犯罪を未然に防止しようとする「犯罪機会論」が主流になりました。そこでは、**犯罪性が高い者でも犯罪機会がなければ犯罪を実行しない(機会がなければ犯罪なし)**と考えられて、犯行に都合の悪い状況を作り出す各種の工夫が研究されてきました。

そのような研究成果に基づいて、犯罪機会を減らし、犯罪者に犯行をあきらめさせる要素を導き出したものが「**犯罪に強い3要素**」です。地域安全マップは、この「犯罪に強い3要素」を教育に応用したものです。

① 領域性⇒

物理的・心理的なバリア（領域性）があれば標的への接近を防げる。

② 監視性⇒

犯罪者が勢力圏の内側に入り込んでも、目撃される可能性（監視性）が高ければ、犯行に移る動きを阻止できる。

③ 抵抗性⇒

犯罪者が標的に近づいても、その抵抗性が高ければ犯行を防げる。

「割れ窓理論」とは、窓を割れたままにしておくと次々に割られていき、ついにはすべて割られてしまう。小さな落書きも消さずにいると全面落書きだらけになってしまう。小さな犯罪を摘発しないと大きな犯罪が多発するようになる。小さな犯罪を摘発することが大きな犯罪を防ぐのだというものです。

ニューヨークの例 ニューヨーク市は1980年代からアメリカ有数の犯罪多発都市となっていたが、1994年に検事出身のルドルフ・ジュリアーニが治安回復を公約に市長に当選して以来、ケリングを顧問としてこの理論を応用しての治安対策に乗り出した。彼の政策は「ゼロ・トレランス(不寛容)」政策と名付けられている。具体的には、警察に予算を重点配分し、警察職員を5000人増員して街頭パトロールを強化した他、落書き、未成年者の喫煙、無賃乗車、万引き、花火、爆竹、騒音、違法駐車など軽犯罪の徹底的な取り締まり、ジェイウォーク(歩行者の交通違反)やタクシーの交通違反、飲酒運転の厳罰化、路上屋台、ポルノショップの締め出し、ホームレスを路上から排除し、保護施設に收容して労働を強制するなどの施策を行った。その結果、就任から5年間で犯罪の認知件数は殺人が67.5%、強盗が54.2%、婦女暴行が27.4%減少し、治安が回復した。また、中心街も活気を取り戻し、住民や観光客が戻ってきた。需要の増加を反映して、中心街の家賃は45%も上昇したという。**日本の例** 日本では、2001年に札幌中央署(北海道警察札幌方面中央警察署)が割れ窓理論を採用し割れ窓を違反駐車に置き換えて、すすきの環境浄化総合対策として犯罪対策を行なった。具体的には北海道内最大の歓楽街のすすきので駐車違反を徹底的に取り締まることで路上駐車が対策前に比べて3分の1以下に減少、併せて地域ボランティアとの協力による街頭パトロールなどの強化により2年間で犯罪を15%減少させることができた。これを受けて各地の警察署からヒアリングなどが活発化している。警察庁は平成14年度版『警察白書』において、「犯罪に強い社会を構築するためには、これまで取締りの対象外であった秩序違反行為を規制することにより犯罪の増勢に歯止めを掛けることも重要な対策の一つであると認められる。」と述べており、今後は割れ窓理論に基づいた犯罪対策の採用が進むと予想される。さらに、同様の理論を用いて空き缶のポイ捨て防止、落書きの防止などの環境美化キャンペーンが日本各地で始まっている。



熱心に聞き入る受講者、手前 稲葉



NPO法人日本ガーディアン・エンジェルのみなさまを激励する。会員募集中！

裏面をご覧ください

児童・生徒の父母も疲労困ぱい。早急に子供を守る地域のシステムづくりを。

今日はイカのおすじ「を子供たちに教えてくださる。

いなば卓夫 議会報告会(防犯ビデオ上映会)のご案内

- 日時 平成18年2月25日(土) 午後2時～3時30分
- 会場 日光市総合会館 中会議室 電話54-1631
- 会費 無料

- 資料の準備の都合がありますので20日までに下記までご連絡いただければ幸いです。
電話 0288-50-3178 FAX0288-50-3181
携帯 090-2323-0667 稲葉

●トイレなど
にお貼り
ください。

今市市教育委員会などの主催で2月12日(日)には「今市市スクールガード研修会」が、26日(日)には「今市市民の安全で安心なまちづくりフォーラム」が開催されます。日光市民の参加も大歓迎。詳細は今市市教育委員会、電話21-5182まで。日光広域で開催して欲しかった。日光市での早期開催を市長に申し入れしました。